

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		文化会館活性化事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を育む鳴門づくり			
政策(中項目)	2	自己表現都市 なる		事業期間	開始 昭和 57 年度
(小項目)		文化振興			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進			
基本事業	2	文化芸術活動の拠点施設等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び鳴門市を訪れる全ての人々										
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	1918年6月1日、板東俘虜収容所において、ドイツ兵捕虜が日本で初めて「第九」交響曲を演奏したことを記念し、昭和57年から市民による「第九」の演奏会が続けられている。今後、国内外に誇る「鳴門の第九」のブランド力をさらに高め、市内外へ周知・啓発を進める。										
成果目標	事業目標の達成度合	指標名					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		「第九」演奏会来場者数					1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第30回「第九」演奏会と翌日に大塚国際美術館のシスティーナホールで「ミュージアムコンサート」を開催。演奏会会場にて「第九」に関する企画展を開催したほか、第30回となる演奏会を記念して、記念植樹やDVD仕様の30回記念誌を発行。また、ドイツ館史料研究会の協力を得て、「第九」に関する観光パンフレット及びDVDを作成し、関係各所への配布を行った。									
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他									
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位				
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「第九」演奏会 中高校生の出演者		26	26	26	27	27	人		
	2										
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	「第九」演奏会来場者数		2,000 (2回公演)	1,300	—	—	—	人			
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%			

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,800	1,800	1,800	1,800		1,800
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,259	3,259	3,259	3,259	3,259	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		5,059	5,059	5,059	5,059	5,059	千円	

【事務事業名：文化会館活性化事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	31回目となる演奏会が開催され、県外、海外からの参加者が定着してきた。また翌日の大塚国際美術館でのコンサートも好評を得た。文化会館の管理が市直営から指定管理者に移行したことから、指定管理者への移行がスムーズになるよう支援する。第九の里「なると」DVDを市内観光施設等に配布し、観光振興へ寄与し、市民への「第九」の理解を図る。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	本課・指定管理者・NPO法人鳴門「第九」を歌う会の三者によるそれぞれの役割分担が明確に行われていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	NPO法人鳴門「第九」を歌う会の会員・役員が高齢化している。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	NPO法人に後継者育成を働きかける。			